

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成29年度 第1回美幌町次世代育成支援推進協議会
開 催 日 時	平成29年 8月17日 (木) 午後6時30分 開会 午後7時12分 閉会
開 催 場 所	しゃきっとプラザ 会議室1・2
出 席 者 氏 名	別紙名簿のとおり
欠 席 者 氏 名	別紙名簿のとおり
事務局職員職氏名	別紙名簿のとおり
議 題	(1) 美幌町子ども・子育て支援事業計画実施報告について (2) その他
会議の公開又は非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	0名
会 議 資 料 の 名 称	第1回美幌町次世代育成支援推進協議会議案 書類番号1 美幌町子ども・子育て支援事業計画の実施状況について 資 料 1 美幌町子ども・子育て支援事業計画進捗状況
会議録の作成方針	☒ 録音テープを使用した全部記録
	☐ 録音テープを使用した要点記録
	☐ 要点記録
その他の必要事項	

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
（開 会） 事務局 （多田主幹）	皆さんこんばんは。定刻となりましたので、ただ今より平成29年度第1回美幌町次世代育成支援推進協議会を開会いたします。 はじめに、今8月なのですが、4月1日付けで人事異動がありまして事務局で2人異動になっておりますので、自己紹介させていただきます。 私、4月1日付けで児童支援主幹になりました、多田と申します。よろしくお願いします。
（関） 事務局	保育指導担当の関と申します。よろしくお願いします。 それでは、この協議会につきましては、「美幌町審議会等の会議の公開に関する条例」第3条により公開となります。会議の傍聴ができますのであらかじめご承知おき願います。 なお、本日の会議は概ね1時間以内で終了したいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いします。 なお、本日欠席報告のあった方は、水本委員、牧野委員、中武委員の3名となっております。 初めに、今回委員の交代がありましたので、新委員1名の方へ委嘱状の交付をいたします。 委嘱状は高崎民生部長より交付いたしますので、お名前をお呼びしますからその場にお立ち願います。 「河原 賢 様」 ～高崎民生部長より委嘱状交付～ それでは、当協議会会長であります早田会長よりご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
早田委員長	皆さん、こんばんは。皆さんお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。 今日はですね、報告がメインになっております。報告を皆さん聞かれました、皆さまのお立場で何かご発言、また、アイディア等がありましたら、この会議で良い発言をしていただけたらばなと思っております。 それを踏まえまして、また、美幌町の方で色々把握していただいて、人口が少しでも増えるように頑張りたいと思います。私達も、その部分で何か力になればと思いますので、今日の会議、皆さんスムーズな、また有意義な会議になりますようにご協力の程よろしくお願いいたします。よろしくお願いします。 以上です。
事務局	ありがとうございました。 次に議題に入りますが、これより先は会長が議長となり進行していただきますのでよろしくお願いします。
早田委員長	それでは、3番の議題に入ります。 はじめに「(1) 美幌町子ども・子育て支援事業計画実施報告について」ということで、事務局の方からご説明をよろしくお願いいたします。
事務局	それでは皆さん、お手元の「資料1 美幌町子ども・子育て支援事業計画進捗状況」からご報告させていただきます。座ったままでよろしい

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	でしょうか。 （全員：はい。） 本計画につきましては、子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育提供区分毎に「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み（ニーズ量）」を推計し、具体的な目標設定を行うことが求められ、アンケートによるニーズ調査を実施して設定したものです。 国から示された作業の手引きに基づき算出することが基本であります。一部では実態と乖離していたことから、実際の利用希望を見込める量として算出されています。しかしながら、昨年もお話ししましたが、事業計画と実績とが大幅に乖離している箇所がございます。5年計画の中間年であり、このほど北海道から、実績値と町の計画における量の見込みとを比較して10%以上の乖離がある場合には見直しを検討するよう通知があり、9月15日までに計画の見直しの有無について報告することとなっております。 説明前ですが、平成28年度につきましても大幅に乖離している箇所がございますので、実態に合わせて平成30年度、31年度の事業計画を一部見直しすることとし、今回の協議会開催時にお示ししたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。 なお、見直しが完了いたしましたら、ホームページなどで改訂版を皆様に周知させていただきたいと思っております。 また、後ほどご報告させていただきたいと思いますが、平成30年度及び31年度におきまして、大谷幼稚園、藤幼稚園様で事業形態の変更が見込まれておりますので、これらを含めまして、事業計画につきまして一部見直しをさせていただきたいと思っております。 それでは、平成28年度の実績についてご報告いたします。 資料1の左上に※印として記載しておりますが、報告に入る前に読み上げたいしてからご説明させていただきたいと思っております。 ※充足率は、事業計画の平成28年度Aと平成28年度実績Bとを比較したものととなります。全ての表におきまして、薄い青色、少し見にくいですが、薄い青色が事業計画でその中に平成28年度Aがあり、右にある黄色が平成28年度実績Bとなっており、AとB、つまり計画と実績を比較したものが「充足率（B/A）」として数字で表しております。 100%を超えたものにつきましては計画以上に達成したことを意味しておりますし、100%より数字が低いほど計画に対して実績が少なく満たされていなかったということになります。 ※事業計画の確保の内容人数については、各施設の最大受入可能人数から想定した数字となります。 ※実績Bは、平均値となります。 ※「確認を受けていない幼稚園」：大谷幼稚園、「認定こども園」：藤幼稚園、「特定教育・保育施設」：美幌保育園・東陽保育園・藤幼稚園、「認可外保育施設」：ひまわり保育園・中央保育所、「地域型保育事業」：へき地保育所（上美幌・福住・田中） ※1号認定：教育標準時間、2号認定：保育認定（3歳児以上）、3号認定：保育認定（3歳児未満） ※計画及び実績は美幌町全体、公営・私営の合計となります。 なお、本日は、事前に資料を送付させていただいておりますことから全ての項目についての説明はいたしませんので、後ほど資料でご確認いただきたいと思います。 それでは資料1のP1をご覧ください。 「1. 教育・保育施設の需要量及び確保方策」を例にご説明いたしま

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	す。なお、本資料の番号と美幌町子ども・子育て支援事業計画の中の番号は同一となっております。 左黄色の（１）１号認定・２号認定（３歳以上、幼稚園、認定子ども園）の事業計画です。 事業の簡単な内容につきましては、その下の枠の中に記載しておりますが、詳しくは皆様お持ちの美幌町子ども・子育て支援事業計画の中に記載されておりますのでご確認願います。 青色、事業計画平成２８年度Ａ、必要利用定員総数３１３名。右に行きますと黄色平成２８年度実績Ｂの欄で３２７名となっております。これを計画と実績とで比較したものが右端の上、充足率１０４．５％となっており、全体的には計画どおりということとなります。 全体としては計画どおりですが、ここでは２号認定、事業計画が８０人でしたが、実績は１０人となり充足率は１２．５％となっております。 要因は、認定こども園に移行している藤幼稚園が幼稚園型ということで１号認定が中心ですので、２号認定が定員１０名であることからこのようになっております。 また、一番下に過不足の欄がありますが、利用定員に対して実績数が不足していた場合に人数が入ります。平成２８年度は過不足０人となっております。 以下、表の見方につきましては、同様となります。 それでは、続きましてＰ２をご覧ください。 （２）２号認定（３歳以上、保育所）ですが、充足率８４．８％でおおよそ計画どおりですが、確保の内容で認可外保育施設、事業計画２７０人、実績７７人、充足率２８．５％となっております。これは、ひまわり保育園以外の季節・へき地保育所が定員を大きく下回る人数だったためです。季節保育所が平成２８年度をもって閉所することで保育児童の募集を停止したことが挙げられます。 （３）とＰ３の（４）は全体充足率ほぼ計画どおりですが、（４）ではやはりへき地保育所の人数が少ないため、認可外保育施設だけを見ますと充足率が５９．１％となっております。 Ｐ３、２番。地域子ども・子育て支援事業の提供です。 （１）利用者支援事業は、計画・実績ともにありません。表の下で※で補足しておりますとおり、子育て支援センターで同様の事業を実施しているため現状の情報提供・相談体制を継続していきます。 （２）地域子育て支援拠点事業ですが、０から２歳児となります。計画が１，０２３人だったところ、実績は４，２１４人で充足率が高くなりました。低年齢児における子育て支援センターの役割が大きいものと思われれます。 続きましてＰ４をご覧ください。（３）妊婦健診事業、（４）乳児家庭全戸訪問事業ですが、計画より若干少ない人数となっております。 （５）養育支援訪問事業ですが、計画が１４人、実績が２９人でした。養育支援が特に必要な家庭への指導・助言が多かったものです。近年、支援を必要とする家庭が増加傾向にあります。 （６）子育て短期支援事業（ショートステイ）とＰ５（７）子育て援助活動支援事業は、実施はありませんでした。 続いて（８）一時預かり事業 ①幼稚園における在園児対象型ですが、量の見込みで１号認定と２号認定で大きく乖離していますが、計画策定時は２号認定が増えると見込んでいました。 ２号認定は先ほどご説明いたしましたとおり、結果的に定員が１０人でしたので実績は低く、逆に１号認定人数が多いため、１号認定の実績

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田委員長 横山委員 事務局 横山委員 事務局	が多くなっております。 昨年町からの委託を行っていない件につきましてご質問、ご意見をいただきました。平成30年度から、子ども・子育て支援新制度での委託を行う方向で、方法の確認及び委託に向けた協議等を進めてまいります。 （8）一時預かり事業②在園児対象型以外につきましても、利用者が非常に増えております。親の病院通院や短時間パートでの預かりなどニーズが増加しており、町でも現在コミュニティセンター内の子育て支援センターを中心に行っておりますが、平成30年1月から同じコミュニティセンターで行っております発達支援センターが旧中央保育所へ移転することから、預かりを行える場所が現在より広く確保できますので、さらなる受入拡大について検討していきたいと思っております。 続きまして、最終P6をご覧ください。（9）時間外保育（延長保育）事業です。通常の利用日時や時間を延長して保育を行っていますのは、ひまわり保育園のみとなっております。 次に（10）病児・病後児保育事業ですが、計画として25人でしたが、実績はありませんでした。 最後に（11）放課後児童健全育成事業（学童クラブ）です。高学年で37人を見込んでいますが、実績は障がいのある者2名の受入のみを行っています。新制度移行に伴い国の基準としては小学校6年生までを対象としたところですが、町では現時点におきましても高学年の受入は出来ておりません。やはり、小学校に通っているお子さんを預かるということは、小学校の余裕教室や小学校敷地内の専用施設の活用を図ることが望ましいことから、教育委員会と場所の確保について継続して協議、検討中です。 しかし、美幌小学校、東陽小学校共に余裕教室がないという現状であり、別棟を建設するとなると多額の費用もかかるということもあり、学年拡大につきましてはなかなか進んでおりません。昨年も申し上げておりますとおり、平成31年度までには目鼻をつけて解決していきたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。 以上で、私からの報告を終わらせていただきます。 はい、ありがとうございます。今、報告をいただきました。これに関しまして質問、ご意見ございましたら、すみません、挙手のうえ声を出していただきたいと思います。 たいしたことではないと思うのですけれども、先ほども言いました充足率が大幅に増えたり減っているという部分がある部分は、先ほど一色さんが言いましたように今後見直して、ほぼ100に近いような数字にもっていくという形で見直すという、そういう解釈でよろしいのですね。 はい、実際の実績に合わせたような形にしまして、平成30年、31年度と見込んでいきたいと考えております。 ただ、やはりちょっと2年後、来年正確に100%ができるかという、また・・・。 極端に言うと、400とか、はでと言うか極端な数字を、それにほぼ近いような形で、30年、31年目標を設定し直すと。 そうです。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山委員	それとも一ついいですか。 最後の（１１）学童クラブの関係ですが、先ほどの教室の問題等含めて余裕がないとお話だったのですが、それはそれで置いておいて、たまたま、これは別の町の会議で学童保育所についてのアンケートをやったという、そういう報告を聞いて、その報告、数字を教えて欲しいということで。多分、ここの部分でのアンケート調査だと思うのですが、その状況が４年生以降の学童保育が必要であるのかないかという、多分、そういうアンケート調査だったと聞いているのですが、その辺の状況を鑑みて、学校がどうしても教室が足りないのだけれどやる方向に進める考えがあるのか、いや、アンケートではそういう数字が少なかったもので、高学年はやる、美幌町としてはやりませんよと。そのような方向なのかですね。その辺をちょっと教えていただければありがたいかな、というふうに思います。 この間、まち・ひと・しごと創成事業の報告、評価の報告があった時に、一委員さんから、「私、実はその学童保育のアンケートが来て出したのだけれどその結果はどうなっているのでしょうかね」という話しがチラッとあったものですから、それを踏まえて、多分これと関連する部分もきっとあるのでその辺のアンケートの数字が分かればですね、後日でもいいです、ご報告していただければありがたいかなというふうに思います。
事務局	今、こちらに持って来ていないので申し訳ございません。後日とさせて。考え方としましては、学童保育は条例ももう直して国の指針で小学校６年生までやりなさいということですので、たまたまうちの場合は場所がなくてまだ実施できていないだけです、これはアンケート、要望がなくても当然６年生まで受け入れる。それはアンケートの結果で、容量の大きさは多少大きいものか小さいものの差があるにしても、受け入れは６年生まではしていくという方針には変わりありませんので。
横山委員	そういうふうにやるという考えはあるのですね。
事務局	実施はしていきます。ただ、規模がちょっと。それで利用の部分、生徒数に応じて検討はさせていただきたいという部分はありますが。
横山委員	分かりました
早田委員長	ありがとうございます。他。
三山委員	よろしいですか。すみません。 ３０年、３１年に向けてですね、見直しということは理解出来るのですが、今、例えばですね、Ｐ３の地域子育て支援拠点事業で充足率が４００％。見直すのは見直す分として、今この４００％という数字が出てしまうと、例えば体制だとか人員だとかというところのフォローは大丈夫なのか、というのが不安とか心配なのですが、その辺はどうなのですかね。対応していただけているのか、だいぶ無理がかかっているのか。
事務局	元々の計画と実績とで差が出ているところなのでこの辺の見直しはしていきたいと思っておりますけども、現実、今子育て（支援センター）は２名の職員体制で行っております。２名のなかで今現在まかなっております、更に子育て、一時預かりということではですね、補助を雇っ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
中嶋委員	てその中で運営しています。 今後につきましては、発達支援センター移転に伴いまして子育て支援センターでその空きスペースを利用しまして、今需要がかなりありまして今後も一時預かりは増えていくと見込んでおりますので、その空きスペースを使いながら、また、今後の動向も見ながら、職員についても、もし不足するということがありましたら増員しながら対応していきたいと考えております。 すみません、この事業とは話しが違うのですが、今ちょっと一時預かりの話しが出たので。 私も何度か利用させていただいているのですが、今、美幌町での一時預かりが病院か仕事かのこの2つでしか預かりができなくて。他の町だとリフレッシュで、例えば美容室だとかちょっとお茶飲みたいとか、そういうものでも預かりはしてくれて。そこは先生達が足りない私達も聞いているので、やはりリフレッシュもいいよとなるとすごい人数になってしまって多分受け入れが難しいから、やりたくても出来ないみたいな感じなのかなと勝手に思っているのですが、そこは今場所も広くなるし、ということであったので、もし可能ならそういう美容室とかも入れてもらえるとすごく助かるなというのと、あと、もう一つが料金なのですが、4時間で1,000円、8時間2,000円という料金設定なのですが、これはどういう理由でその4時間なのかなと思って。私は歯医者に行った時に利用させてもらったのですが、「終わったらすぐ戻ってきてください」と言われて、「歯医者だったら多分1時間か長くて2時間ですよ」と言われて。でも、4時間しかないの（料金設定が）、実際4時間もかからず戻って来て。でも4時間分払わないといけなくて。だから、病院に行っている時間だけなので、もし4時間分お金を取るのであればその4時間預けられたら、じゃあ歯医者終わった後ちょっと洗濯して家のことをしてとかお金払っている分できるのでですけど、リフレッシュではなくてあくまでも病院での預かりなので、病院以外のことはしないでもう直ぐ戻ってきて下さいと言われて。2時間も預けないで、でも1,000円払ってちょっと損した気分というか。それであれば2時間区切りにしてもらったらありがたいなというか、2時間で500円としてもらった方がこっちも腑に落ちるなって思ったので、料金設定を変えるか、もしくは4時間で預けるかどうかにかにしてもらえるとありがたいなと思いました。
早田委員長	これは一応使用側の、本当心の声だと思いますので、是非ご検討を。
事務局	そうですね。料金は現状はその設定しかなく。
早田委員長	1,000円払ったのだったらね、器用な方であれば歯医者行って「あつ、まだ時間あるわ」って。そうしたらそれこそうまく時間使って「いやー歯医者、今までかかった」とかって。雑ですが。
中嶋委員	さすがに歯医者で4時間は、ちょっと言えないですよ。
事務局	実態ですが、実際そうですね。
早田委員長	でも、大事なお子さんを預かるからね。やっぱり神経使うでしょうから、早く帰って来て下さいというのは、まあ、悪い意味ではないと思うので。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
中嶋委員	だったら500円にして欲しかったなって。
早田委員長	是非、良い意味で使いやすい部分でご検討いただけると。
事務局	ちょっと検討はさせていただきたいと思います。
早田委員長	正直、リフレッシュというのは大事なことは大事なのですがね。子育てで家の中でこもっているお母様方にはね。
中嶋委員	他の町からだ結構そういうのが多いので、だから「あー、ないんだ」とちょっと思ったりもしました。
早田委員長	すぐではなくても、少しでもね、裾野を広げるようなイメージで。
事務局	はい。
井上副委員長	料金に関しては、その方が良いのではないですか。
早田委員長	贅田先生、お願いします。
贅田委員	今のお話の内容なのですけれども、私も今ひまわり保育園で一時預かりの子を預かっているのですが、内容的に今、リアルタイムで、緊急一時だけでなく、そのリフレッシュというところもやっぱり考えていって欲しいかなという部分もあるし、リフレッシュの中には子育て中で精神的にちょっと疲れが出たとか、その他諸々のことが結構あるのです。そういう方達の支援というのもこれからは必要になってくると思うので、そういった意味で緊急一時的だけではなくてリフレッシュが仕事、就労、その他の理由で一時的で預けたいとか。 うちに来る中で、参観日等に行きたい時下の子を連れて行くとなかなか授業をしっかりと聞けないとか、その他、その後のお楽しみ会ですか、そのようなものにもなかなか十分に遊ぶ事が出来ないので授業時間預かって欲しいとかという内容で、これ、多々あるのです。 だから、もう少し内容とか幅広く預かってほしいなと思うのと、もう一つ話が出たので、里帰り出産ということで結構美幌に来て出産される方がいるのです。それで、一人目の時は良いのですが、上の子を連れて帰って来た時に一ヶ月とか一週間とか二週間とかいるので、今うちで2ヶ月ほど預かっているお子さんがいるのですが、一時保育でうちが預かるとお金がすごく高くなって入園という形でなるべく利用料金を安くしているということでやっているのですが、そういった人達の利用も出来るような方法を。住所がここに無くてここから巣立っていった方達なので、実家があれば住所があると一緒ではないかなと。その所、もしその辺の部分も含めて一時預かりというのは中味がもっともっと意味合いもあるし、そういう意味も持っていると思うので、利用者が利用しやすいような一時預かりであればいいのになということと、安い料金でやはり預かる事が出来ればという事は思います。 旅行だとうちに来られる方もいるのですが、私も保育園を運営しているので500円ということにはならず800円位もらってやっていて。現金、預けてしまうとお金、かなり必要となりますよね。今の話しをもとに子育てしているお母さんにとっては大切なことなのかなと思って聞いていますし、そういう相談がうちにも入ってくるので。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田委員長	はい、貴重なご意見ありがとうございます。 この件に関しまして、本当に大事なことだと思いますね。 この前一人いました、里帰り出産で。今からどこの行くの、って聞いたら「仲町の子育て支援センターで長女を遊ばせに行くの」と言っていました。やはり、実際にありますよね。 ぜひ、リフレッシュも含めて、また、予算金額も含めて。やっぱりね、子育て支援とは、優しい町でないかね。やっぱりだめだと思いますがどうでしょうか。
中川委員	先ほどおっしゃった金額については、本当にすぐにでも対処していただいたらありがたいのではないかなと思います。
事務局	相対的に金額もありますし、半日ずつにしたのは人の確保が時間単位よりも、多分半日単位で確保しているとか、そういう理由もあったのかなと思うのですよね。ですから、すぐに逆に半日単位で来てもらったりする分、そういう部分今ご意見を色々いただきましたので、そういう時間的なものの単価ができるのか、逆に半日単位、今病院に行ったとかだけではなくて他の部分ですね、今利用、リフレッシュ部分も含めて単位で預かるかというのも、また、相対的に含めまして。 今までちょっと、なかなか利用率も充足率が高いというか、実績で受けているのですが、やはり受け入れられるスペースが先ほど無かった分が今回空きスペースが出てきますので。あと、人の確保ができれば今よりは多くの預け入れ、受け入れができるような形になりますので、色々なご意見いただきましたを含めまして、また、子育てしやすい体制、どういうところから出来るのか、出来る部分から見直しは図らせていただきたいというふうには考えていますので。貴重なご意見、ありがとうございます。
早田委員長	ありがとうございます。ぜひ、良い方向に向けて話し合いをしていたきたいと思います。 他、ご質問ございませんでしょうか。 よろしいですか。（質問無し） それでは、また次の報告、進捗状況ということで事務局の方からご説明をお願い申し上げます。
事務局	それでは、引き続き私からご報告いたします。 書類番号1をご覧ください。こちらは、これからご報告いたします、全部で104ございます個別事業につきまして、進捗状況を達成度別にA～Eに分類して評価を集計した表となります。評価方法につきましては、書類番号1の右上に記載しておりますとおり達成度が高いものがAとなり、Eにつきましては着手できなかったものとなっております。 昨年度まで112事業ございましたが、8事業が廃止となり全部で104事業となっております。 基本施策として大きく3つあり、地域における子育てへの支援が80事業、すべての子どもの育ちを支える環境の充実が14事業、仕事と子育ての両立の推進が10事業ございます。事業別達成度を下にグラフ化しておりますが、全体でA、事業内容を達成した及びB、ほぼ達成したを合わせますと88.5%となり、3つの事業ともほぼ同様の達成度の高いものとなっておりますが、中にはE赤、達成できなかったものもございます。 それでは、A3版の子ども・子育て支援事業計画の個別進捗状況につ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	いてをご覧ください。 P 1 から P 1 0 まであり、1 0 4 事業もございますので、皆様すでにお目通しのことと思いますので大きなものに絞ってご説明させていただきます。 P 1 から P 7 までは、多くの事業においてほとんどが達成されておりますのでお目通し願います。 それでは P 8 をご覧ください。一番上、子ども発達支援センターですが、先ほど少しご説明いたしましたとおり、平成 3 0 年 1 月に療育室の確保のため、旧中央保育所を一部改修し移転する予定となっております。移転後は、指導員人数分の部屋が作られ、近年増加している利用者の利用回数制限などが解消される見込みです。 また、上から 4 つ目、児童虐待防止対策の充実ですが、従来北海道、児童相談所が行っていた業務が市町村においてきまして、市町村職員が 5 日間ほどの専門研修を受ける義務や、職員の配置などがうたわれました。ただし、町職員の人員に限りがあることから、児童支援グループの職員及び保健師が研修を受け、兼務することで業務をこなしていくこととしており、平成 3 0 年度において専門研修を受講予定となっております。 最後、P 1 0 をご覧ください。こちらも先ほどご説明させていただいておりますが、中ほどにございます季節保育所の運営ですが中央保育所が平成 2 8 年度で廃止となっております。 以上、簡単ではございますが、ご説明申し上げます。皆様におかれましては、再度お目通しいただきたいと思いますので、よろしく願います。
早田委員長	はい、ありがとうございます。全部で P 1 0 の資料ですが、P 8 と P 1 0 の主な事業の進捗状況をお話頂きました。 全体をとおしてご質問、ご意見、ご要望等ありましたら、挙手のうえお願い申し上げます。
早田委員長	子育て支援センターと子ども発達支援センターが分かれる弊害はないのですか。別れた方がいいのか・・・。
事務局	発達支援センターでいいますと、やはり別々の方が。子育て支援センターは健常児と言いますか、こちらがほとんどなので。逆に発達支援センターの方は障がい児等と発達に支援の必要な子が来ますので、保護者の方には別の方が良いという、そういう場合もありますので。
早田委員長	最初に電話をしたら、どっちも同じ事務所でやっているのですね。全然知らなくて。「すみません、発達支援センターはどこですか」と聞いたら「ここです」と言われ、「子育て支援センターもここです」と。「あれー」と思って事務局に行ったら、同じだったのですね。 よろしいでしょうか。進捗状況ということですので、また次回の会議、次々回の会議等とで結果報告になろうかと思います。 ありがとうございます。それでは、事務局の方から何かございますでしょうか。
事務局	事務局からその他としまして、2 点ほどご報告申し上げます。 1 点目につきましては、藤幼稚園さんの園舎改築についてです。 藤幼稚園さんが 3 0 年度に現在の敷地内で園舎を改築し、現在の幼稚園型から幼保連携型の認定子ども園として、3 1 年度から新園舎により

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田委員長	運営を開始することで計画をしております。 園舎改築に当たっては、国や町の補助も受けながら進めていきたいということで相談がありまして、国の補助制度、また町の補助についても確認しまして国への補助要望を行っております。 補助の手続きもありまして、来年の４月以降に実施設計、そして園舎の工事を行いまして、３１年４月から新園舎によって運営していくという予定となっております。 ２点目につきましては、大谷幼稚園さんが子ども・子育て支援新制度による施設型給付を受ける幼稚園へ移行を希望しているということです。 大谷幼稚園さんからも新制度への移行について町に相談がありまして、３０年度から移行をするということで進めております。 以上の２点になりますけれども、いずれの幼稚園さんも美幌町全体での子育て支援を考えていただいております、相談時には町からの要望もできる範囲で受け入れてもらえるということでありましたので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。 以上です。 ありがとうございます。 それでは、次回開催時期についてということでお願ひします。
事務局	最後になりますけれども、次回の開催についてです。先ほど説明をしましたとおり、今年度、美幌町子ども・子育て支援事業計画の中間年でありまして、この計画の見直しを行う予定となっております。 計画の見直し作業はこれからでありまして、作業に時間を要するということもありますことから、見直し作業が終了しました後に次回の協議会を開催する運びとなる予定です。 開催時期につきましては、現委員の皆様の任期が今年１１月２３日までであり、次期委員の皆様への委嘱状交付の関係もありますので、その時期を勘案しながら開催したいと考えております。 従いまして、現委員の皆様にお集まりいただく会議につきましては、今回で終了という予定となっております。 今後、新委員の推薦依頼等を行う予定でありますので、その際にはまたご協力をお願いしたいと思います。 以上です。
早田委員長	はい、ということでございます。本当に皆さん、色々長年に渡りましてありがとうございます。 それでは、閉会に先立ちまして、井上副委員長より一言いただいてこの会を閉めたいと思ひますので宜しくお願ひ致します。
井上副委員長	皆さま、お疲れ様でございます。日頃の日常生活で子育てに関わっている方ですとか、実際に育て最中の若いお父さんやお母さん方の話などを実際に聞いて身近に感じている方も中にたくさんいらっしゃると思ひます。 これからも、子育てに優しい住みよい美幌町の町づくりということから、皆さま方のお一人お一人の情報だとか、日頃感じていることやそういったことが上がってきて初めて行政にも伝わりますし、そういったところを改善したら住みやすいのか、そういったところがなかなか皆さんの意見がないと行政も対応出来ない部分というのがあると思ひますので、ぜひちょっとしたことでも感じていることを情報としてあげていた

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
早田委員長 事務局	だけたら行政と町民の皆さんが一つになって町づくりが進んでいくと思いますので、これからもこういった会議がありましたら是非とも参加していただいて言っていただきたいし、また会議がなくてもそういったご意見があれば行政の方に上げていただければ、行政サイドもいつも聞く耳を持って受け入れていただけたと思いますので、皆さんも日頃からそのような気持ちで関わっていただければありがたいと思いますので、また次回の会議の時によろしくお願いいたします。 ありがとうございます。 気をつけてお帰りくださいませ。 どうもありがとうございました。お疲れ様でございます。 ありがとうございました。

美幌町次世代育成支援推進協議会出席者名簿

(敬称省略)

	団 体 名	氏 名	出 欠
1	美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員)	早田 眞二	○
2	美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員)	井上 裕子	○
3	美幌町民生委員児童委員協議会(主任児童委員)	中川 睦子	○
4	美幌町自治会連合会女性部会	畑 郁子	○
5	社会福祉法人 美幌町社会福祉協議会	小國 柑奈	○
6	美幌町青少年育成協議会	三山 秀市	○
7	美幌町PTA連合会	中條 雅司	○
8	美幌町小中学校長会	河原 賢	○
9	美幌大谷幼稚園	國澤 智子	○
10	美幌藤幼稚園	大坪 弘美	○
11	へき地三地区合同父母の会	水本 真由美	欠
12	東陽保育園父母の会	江口 高志	欠
13	美幌町手をつなぐ連絡協議会	牧野 泰乗	欠
14	美幌町ハート支援ネットワークの会	成田 光幸	○
15	特定非営利法人 ひまわり保育園	贅田 知子	○
16	美幌商工会議所	横山 清美	○
17	一般公募	中武 梢	欠
18	一般公募	中嶋 泉	○
	町側	高崎民生部長	○
	町側	多田児童支援主幹	○
	町側	関保育指導主査	○
	町側	一色業務担当主査	○